



Mus

vol.204

2009 February

発行/学校法人 大阪音楽大学
編集/広報誌編集室
〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8
TEL/06-6334-2131 FAX/06-6334-2141
URL <http://daion.ac.jp>
発行日/2009年2月16日



写真は新春の風物詩 弥生時代の土甕づくり 中庭によみがえった古代の音色 (2009年1月7日)



CONTENTS

学長特別講義 講師に作曲家の山路敦司氏/面接対策セミナー2
大学・短大合唱演奏会/短大第17回定期演奏会ほか10・11

- 安藝榮子講師が中国で講義/本山秀毅教授がテレビ出演3
- オペラハウス開館20周年記念の催し4
- 記念公演の見どころ 高橋浩子教授と本田耕一館長対談5
- 3月 4月の学校法人大阪音楽大学の催し6
- 連載「校史点描」<5> 鳥取出身の3人7
- 退職の教授6人 ご苦労さまでした8・9
- 本学協力、カンボジアにピアノ贈る9
- オペラ物知り講座/はびきの市民大学・聴講記②12

- 入試ナビ/音楽院のひろば13
- Brillante ブリュッセル在住 井上麻衣子さん14
- 人の心を癒すヘブンアーティストの舞歌さん15
- ザ・タロー・シンガーズに文化庁芸術祭賞優秀賞 ほか16
- オーボエの鐘ヶ江さん 留学先のドイツで1位に17
- 阪神タイガースにクラシック応援歌/2教授はCDと楽譜18
- 貴志康一誕生百年 北浦洋子講師がブルガリアで記念演奏19
- BIG BELLが熱演/第28回こどものミュージカル ほか20

学長特別講義

講師 作曲家の山路敦司氏

中村孝義学長特別講義は12月1日、B号館402教室で催されました。講師は作曲家・音楽プロデューサーで大阪電気通信大学准教授の山路敦司氏。テーマは「アカデミックな音楽教育とポピュラー・商業音楽の接点とは」。

山路氏は東京芸術大学大学院修士課程(作曲)を修了。第61回(92年)日本音楽コンクール作曲部門(オーケストラ)入選、文化庁舞台芸術創作奨励賞などを受賞。

米国スタンフォード大学音楽学部C C R M A客員研究員を務め、音響工学を用いた電子音楽を研究。商業音楽分野でも活躍しています。



山路氏はクラシックと他の音楽を分けなくて、同じ目線で見ていくことが必要と前置きし、まず自己紹介。そして、なぜ音楽をやるのか、音楽家になるためにどうしたらよいか、音楽家として将来、何をすべきか——の4点について述べました。概要は次の通り。

山路氏は大学時代、現代音楽に物足りなさを感じ、アレンジの仕

事も。きっかけは友達を紹介。「私が大学に行って良かったと思うのは図書館通いと友達づくりで人間のなつながりが出てくることです」。

「なぜ音楽をやるのか、なぜクラシックなのか」などについて、もう一度考えることが大事。「音楽家を支えるのは情熱。絶対やるという強い気持ちがないと乗り越えることができません」

「受験勉強みたいなことを一生続けられるのか、覚悟を決める。生活のつなぎとして運転免許を取る」とだ」と先生に言われたことを紹介しました。

また、ポップスの人たちは世に出るために、ライヴをやり、ストーリーで演奏しているのを例に上げ、「圧倒的な力、表現力、存在感がないと人は付いてきません。その人に魅力があるかどうかです。お客が来ないのは魅力がないからです」

では、魅力とは何か。「自分とは何か、自分に出来ることは何か。音楽家になるには自分を知ることです。一人のアーティストと、もう一人の自分がいるという視点に立ち、自分の魅力は何かと考えることです」と指摘しました。

また、ポップスの人たちは世に出るために、ライヴをやり、ストーリーで演奏しているのを例に上げ、「圧倒的な力、表現力、存在感がないと人は付いてきません。その人に魅力があるかどうかです。お客が来ないのは魅力がないからです」

2008年度キャリアデザイン講座「面接対策セミナー」が12月12日にA号館303教室などで行われました。講師は須田淳・野村證券ならば支店長ら同證券会社の人事担当者6人。第1部は須田支店長から企業が求める人材像などについて話を聞き、第2部は実践しながらの模擬面接。第一印象をよく見せるためのノウハウなどに

すばらしいパーソナリティー

実践しながら 面接対策セミナー



ついて学びました。セミナーに参加した大学、短大生18人は、世界的な大不況の中、何かをつかみ取ろうと真剣に耳を傾けていました。

第1部「面接必勝法」教えます

①面接者の心を動かすのは、すばらしい志望動機、すばらしいストーリーでもありません。その人自身が放つ「オーラ」であること、ぜひ頭の中に入れておく

ださい。

②面接者を好きになつてください。言葉や志望動機に頼らず、相手を好きになること。すべての仕事に通じる必勝法です。

③面接で一番見たいのは様々な価値観を吸収できる「素直さ」です。自分自身の価値観を持ちながら、相手の価値観も受け入れることができる素直さや吸収力のある人は社会に出て必ず伸びることを覚えておいてください。

第2部 実践形式の「模擬面接」

18人の学生が6つの班に分かれて面接を受けました。面接時間は1人15分。そばには他の学生が見学し、面接後は評価していました。

面接での質問は「志望動機」「自己アピール」「入社して何をしたいのか」などなど。

【講評】面接を通して感じたこと

とは皆さん、すばらしいパーソナリティーを持っておられることです。ただ音楽関係以外の一般企業を本気で志望されるなら、すばらしいパーソナリティーと志望動機との間に相当なギャップがあることを覚悟しておいてください。志望動機をきっちり組み立てて自分を表現することができれば、パーソナリティーと同調して、相応なパワーを発揮することができます。

授業に目輝かせる学生 「教えて」と教授も受講

安藝榮子講師が中国・杭州師範大学付属音楽院で特別講師として08年9月3日から17日まで公開講義とレッスンをしました。以下は安藝講師の音楽院体験報告です。

× × ×

関西国際空港から2時間で杭州空港へ。街の中心にある本校から車で1時間、「白蛇伝」で知られる西湖の畔にある音楽院に到着。杭州師範大学は1908年建学の歴史を持ち、付属音楽院はその音楽学部にあたります。2006年にこの学院で開催された中国音楽国際コンクールで「成年音楽専門の部特等賞」と「最佳中国作品表現賞」を頂いたのがきっかけで、今回のオファーとなりました。

私の仕事は滞在2週間の間に公開授業1回、レッスンを随時して最後の日にファイナルコンサートを音楽院内の大劇場（700人収容のコンサートホール）でプロデュース開催することです。音楽院の時間割は午前8時30分から午後5時まで45分授業7時間。私は時間枠にとらわれずに午前9時30分から午前中2時間半、午後は3時

安藝講師が中国・音楽院体験記



間レッスンをすることにしました。受講者は大学3、4年生、大学院生、若手講師の方々。大学は新学期でフレッシュマンがいっぱい。私もワクワクしながら気持ちよく授業をさせ

音楽が救った言葉の壁

て頂きました。

ただ困ったことに、通訳はレクチャー（公開授業）の日だけ。毎日のレッスンは中国語、英語、イタリア語、ドイツ語が飛び交いました。大得意の日本語は全く通じ

ません。食堂でも、おいしい中国料理なのに言葉で苦労しました。

公開授業の内容は「声の三要素」である呼吸・発声・共鳴の解説と、声楽家として実践で知り得た感覚を伝えることです。学生が「分かった」「この感じ」「ありがとう」と目を輝かせる瞬間が素晴らしい記憶として今もよみがえってきます。

ファイナルコンサートはモーツァルトのオペラ中心に構成。「魔笛」第1幕（素晴らしい若手講師陣の侍女3重唱）から始まり「フイガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」のアンサンブル（演技付き）やソロ。最後はザラストロのアリアー国際級のバス（教授）で締めくくり大成功でした。

音楽院院長田氏、副院長で声楽科主任楊氏はじめ教授陣がとても喜んでくれ、「また教えに来て欲しい」と言ってくれました。ザラストロを歌った教授は授業2日目に「教えて下さい」と来られ、私

のレッスンを受けられました。謙虚な態度と探求心に感服しました。

音楽、声楽という共通語のお陰で「アンイ・ラウシ（安藝先生）」と呼ばれるながら、私もまた有意義な時を過ごせた2週間でした。

「メサイヤ」の聴きどころ 本山教授がテレビで解説

本山秀毅教授（副学長）が12月21日、テレビ朝日系列で放映された「題名のない音楽会」で、G・F・ヘンデルの「メサイヤ」の聴きどころを解説。26日のNHK・BSのクラシック倶楽部「びわ湖ホール声楽アンサンブル 歌劇『デイドーとエネアス』」では、同声楽アンサンブルを指揮しました。



メサイヤについて説明する本山教授
=中央=ABCテレビから

「題名のない音楽会」では名曲百選として09年で没後250年となるヘンデルの「メサイヤ」を特集。本山教授は指揮者の佐渡裕さん、ヘンデルに扮した作曲家の青島広志さんを相手に第44番「ハレルヤ」、第53番「アーメン」など4曲について解説しました。

本山教授はハレルヤについて「オーケストラと合唱のダブルコーラスで神への賛美が沸きおこるという手法を使っています」と説明。ロンドン初演で国王が敬意を評したエピソードも紹介しました。

ザ・カレッジ・オペラハウス開館20周年記念公演



オープニング第一弾 オペラ・ガラ・コンサート

3月5日(木) 18時30分

入場料 5000円 小・中・高校生 1000円 指定席

*当初お知らせした自由席から指定席へ変更になりました。

第1部 モーツァルト

W.A.モーツァルト:歌劇「フィガロの結婚」より
「コジ・ファン・トゥッテ」より
「ドン・ジョヴァンニ」より
「魔笛」より

第2部 20世紀オペラ

松村禎三:歌劇「沈黙」より
C.オルフ:歌劇「賢い女」より
鈴木英明:歌劇「鬼娘恋首引」より

指揮 広上淳一

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

制作担当 2部ナレーター 高橋浩子

制作統括 本田耕一

出演 青木耕平 荒田祐子 石橋栄実 井上敏典
老田裕子 尾崎比佐子 柏原保典
木澤佐江子 木村孝夫 清原邦仁
楠永陽子 小西潤子 小餅谷哲男
清水光彦 周江平 新川和孝 田中勉
田中友輝子 田中由也 田邊織恵
並河寿美 西垣俊朗 萩原次己 晴雅彦
福島紀子 福永修子 松岡重親 松岡剛宏
松田昌恵 松本薫平 森孝裕

クラリネット五重奏コンサート

「鈴木秀美と仲間たちによる珠玉の室内楽」

4月18日(土) 14時 指定席

一般3000円 シルバー2000円 高校生以下1000円

古典クラリネット ロレンツォ・コッポラ
ヴァイオリン 若松夏美 グーヤ・マルティネーニ
ヴィオラ 成田 寛 チェロ 鈴木秀美
W.A.モーツァルト:クラリネット五重奏曲
C.M.v.ヴェーバー:クラリネット五重奏曲

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

第43回定期演奏会

5月23日(土) 18時 指定席

一般3000円 シルバー2000円 高校生以下1000円

指揮 チャン・ユンスン

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

合唱指揮 里井宏次 合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

クラリネット バスカル・モラゲス

ソプラノ I 石橋栄実 ソプラノ II 並河寿美 テノール 波多野均

W.A.モーツァルト:クラリネット協奏曲 長調 K.622

F.メンデルスゾーン:バルトルディ交響曲カンタータ「賛歌」作品52(交響曲第2番)

モーツァルトピアノ協奏曲

全曲演奏会 Vol. IX (最終回)

6月11日(木) 19時 自由席

一般3000円 大学生・シルバー2000円 高校生以下1000円

指揮 小田野宏之

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

ピアノ 木村直美 西本由香 横田知子

岸本雅美 岡原慎也

W.A.モーツァルト:3台のピアノのための協奏曲 第7番 K.242

ピアノ協奏曲 第14番 K.449

ピアノ協奏曲 第27番 K.595

第43回オペラ公演 サマーオペラ

W.A.モーツァルト「イドメネオ」(原語上演・字幕付)

7月10日(金) 18時 7月12日(日) 14時 指定席

一般7000円 シルバー6000円 高校生以下3000円

指揮 児玉宏 演出 岩田達宗

制作担当 草野道広 制作統括 本田耕一

イドメネオ 小餅谷哲男 イダマンテ 諏訪部匡司

イーリア 石橋栄実 エレットラ 草野浩子

声 周江平 他

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

第44回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ

A.オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」

(原語/フランス語・一部訳詞上演・字幕付)

11月6日(金) 19時 11月8日(日) 14時 指定席

一般7000円 シルバー6000円 高校生以下3000円

指揮 チャン・ユンスン 演出 岩田達宗

制作担当 高橋浩子 制作統括 本田耕一

ジャンヌ・ダルク 石橋栄実 修道士ドミニク 川下登

マルグリート 田邊織恵 カトリヌ 荒田祐子

聖処女 中西麻貴 他

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

オンド・マルトノ演奏 久保智美

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第44回定期演奏会

第13回コンサート・オペラ

G.プッチーニ「蝶々夫人」(演奏会形式 原語上演 字幕付)

2010年3月7日(日) 14時 指定席

一般5000円 シルバー4000円 高校生以下2000円

指揮 チャン・ユンスン 演出 籾川直子

制作統括 本田耕一

蝶々 並河寿美 スズキ 田中友輝子

ピンカートン 小餅谷哲男 シャープレス 田中勉

ヤマドリ 澤井宏仁 ボンゾ 湯浅順信

ゴロー 清原邦仁 他

合唱 ザ・カレッジ・オペラハウス合唱団

管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

◆オペラハウス公演のチケットのお申し込みは、鑑賞会員の方は電話で、その他の方および整理券ご希望の方は、はがきFAXでコンサート・センターへ。ホームページからお申し込みいただけます。<http://daion.ac.jp> 上記の演奏会では乳幼児、未就学児童のご入場をお断りしております。

[大阪音楽大学コンサート・センター]〒561-8555 豊中市庄内幸町1-1-8 ☎06-6334-2242 FAX06-6334-2164

1989年3月15日に誕生した大阪音楽大学ザ・カレッジ・オペラハウス。日本で初めて専属の管弦楽団と合唱団を擁して開館20周年を迎える今年、記念公演にふさわしい催しがラインナップされています。本田耕一オペラハウス館長と、オペラ制作に尽力してきた高橋浩子教授に、見どころを聞きました。

本田館長 記念公演のオープニングは、3月のオペラ・ガラ・コンサートです。4月のクラリネット五重奏のソリスト、L・コッポラさんは古典クラリネットの数少ないスペシャリスト。5月の管弦楽

古典とモダンのクラリネットを聴き比べ

本田館長

定期演奏会で、モーツァルトの協奏曲を独奏するP・モラゲス本学客員教授は、パリ管弦楽団のスーパーソリスト。ヨーロッパでは超売れっ子のク

記念20周年開館公演の見どころ



本田耕一館長と高橋浩子教授の対談

独唱アリアのすばらしさがセリアの聴きどころです。秋はオネゲルの「火刑台上のジャンヌ・ダルク」。20世紀オペラ・シリーズでフランス・オペラを上演するのも初めてです。主役二人は語りだけのスタイルですが、音楽的にはさまざまな要素が楽しめ、合唱団が大活

初のオペラ・セリアとフランス・オペラ

高橋教授

ラリネット奏者です。偶然にも古典とモダンのクラリネットが続く、おもしろい組み合わせになりました。6月のモーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会は、今回が最終回。いよいよ発案者の岡原慎也教授が独奏されるのが、待ち遠しいところです。

躍ります。珍しい楽器、オンド・マルトノも演奏されますので、ご注目ください。
本田館長 コンサートオペラ「蝶々夫人」は、よりオペラに近い雰囲気などで楽しんでいただけるよう、衣裳など演出を工夫しますので、ぜひご覧いただきたいですね。

学生有志と卒業生たちによる演奏会形式ミュージカル「レ・ミゼラブル」10周年記念公演（主催「デザイン・ド・フラム」音楽監督

『レ・ミゼラブル』が10周年

西垣俊朗）が、3月14日（土）18時からと15日（日）14時からそれぞれザ・カレッジ・オペラハウスで上演されます。99年5月、「レ・ミゼラブル」に感動した学生たちが、音源を頼りに一からオーケストラ用の楽譜を書き、オペラハウスでの自主初演メンバーと学生共演

制作統括の伊藤法子さん（大3声楽）らが、初演の出演者に依頼しました。今回の公演では、初演で指揮・編曲をした大島弥州夫さんがはじめ多数の初演メンバーが参加。キャストはジャン・バルジヤンの井原秀人さん、田中由也准教授、テナルディエの西原大介さん（BIG BELL）が初演キャスト。そのほか伊藤止さん、榎貴志さんら、第一線で活躍する卒業生や本学教員が、学生たちとダブル・キャストで出演します。入場料1500円（チケット取り扱い）大阪音楽大学コンサート・センタ



本番に向け稽古に入る出演者たち
1月28日 D401教室

公演を成し遂げて以来、その情熱の火は受け継がれ、03年、07年と公演を重ねてきました。「10周年を記念して先輩方と共演したい」。

インターネット予約
<http://blog.goone.jp/10flamme>
「問い合わせ」フラム制作部
10flamme@mail.goone.jp

2009年度オペラハウス『年間セット券』のご案内
今年もお求めやすい価格で『年間セット券』を設けました。コンサート・センターでお申し込みください。☎06-6334-2242

Aセット (締切 4月10日)	7公演すべて	20,000円 (30,000円)
Bセット (締切 4月10日)		15,000円 (19,000円)

*4と5はどちらか1日を選択。()内は通常価格

2009年度 ザ・カレッジ・オペラハウス主催公演

- 4月18日(土) 鈴木秀美と仲間たちによる珠玉の室内楽
- 5月23日(土) ザ・カレッジオペラハウス管弦楽団第43定期演奏会
- 6月11日(木) モーツァルトピアノ協奏曲全曲演奏会 Vol.Ⅹ
- 7月10日(金) 7月12日(日) 第43回オペラ公演サマーオペラ モーツァルト「イドメネオ」
- 11月6日(金) 11月8日(日) 第44回オペラ公演20世紀オペラ・シリーズ オネゲル「火刑台上のジャンヌ・ダルク」
- 2010年3月7日(日) 第13回コンサートオペラ「蝶々夫人」
- 日程未定 第24回推薦コンサート 「20世紀の歌曲〜21世紀へのメッセージ」

*個別公演のチケットは、公演日の約3ヶ月前より発券する予定です。

3月・4月

学校法人 大阪音楽大学の催し

3月1日(日) 14時	大阪音楽大学第40回吹奏楽演奏会 ザ・シンフォニーホール 指揮 北野徹 演奏 大阪音楽大学吹奏楽団
3月5日(木) 18時30分	ザ・カレッジ・オペラハウス開館20周年記念 オペラ・ガラ・コンサート OH 指揮 広上淳一 管弦楽 ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
3月8日(日) 14時	大阪音楽大学短期大学部第14回吹奏楽演奏会 OH 指揮 小野川昭博 演奏 大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団
3月10日(火) 18時	大阪音楽大学第6回ザ・ストリング・コンサート OH 指揮 上塚憲一 演奏 大阪音楽大学・同短期大学部弦楽器専攻生
3月14日(土) 14時	第27回ミュージアム・セミナー「ブータンの仮面劇」 音楽博物館 出演 西岡信雄 伝統芸能団「プンツォ・ダヤン」
3月14日(土) 17時	Daionコンサート 夕映えの海とともに ATC南港サンセットホール 出演 土岐和香奈 篠原ちひろ(ピアノ)
3月16日(月) 18時	大阪音楽大学短期大学部2008年度卒業演奏会(第一夜) OH 出演 選抜卒業生
3月17日(火) 18時	大阪音楽大学短期大学部2008年度卒業演奏会(第二夜) OH 出演 選抜卒業生
3月18日(水) 18時	大阪音楽大学2008年度卒業演奏会(第一夜) OH 出演 選抜卒業生
3月19日(木) 18時	大阪音楽大学2008年度卒業演奏会(第二夜) OH 出演 選抜卒業生
3月23日(月) 18時	大学院演奏会 MH 出演 大学院生
4月18日(土) 14時	クラリネット五重奏コンサート「鈴木秀美と仲間たちによる珠玉の室内楽」 OH 出演 ロレンソ・コッポラ 若松夏美 グーヤ・マルティネーニ 成田寛 鈴木秀美

OH/オペラハウス MH/ミレニアムホール

College Information

大阪音楽大学音楽博物館

第27回ミュージアム・セミナー 「ブータンの仮面劇」

3月14日(土) 14時 音楽博物館

入場料 1000円 *事前の申し込みが必要です。

お話 西岡信雄 演奏 伝統芸能団「プンツォ・ダヤン」

ヒマラヤ山麓の東端に位置するブータンは、多様な自然環境の中で、地域ごとに独自の伝統文化を育んできました。今回はユネスコ世界無形遺産にも登録されるダイナミックな「ダムツィの仮面劇」など、各地に伝承する歌や踊りをご紹介します。

《申し込み・問い合わせ》大阪音楽大学音楽博物館

〒561-0841 豊中市名神口1-4-1 大阪音楽大学 K号館4階

☎06-6868-1509 FAX06-6865-1221

教員免許状更新講習を開講

2009年4月から教員免許更新制が導入されます。これにともない、本学では教員免許状更新講習を開講する準備を進めています。

開講予定の講習

- 必修講習「教育の最新事情」
- 選択講習「指揮法の基本と実践」「合唱指導法」「日本伝統音楽」「リコーダー指導法」

開講時期は2009年6月～8月を予定しています。

申し込み方法など、詳細につきましては決まり次第、大学ホームページでご案内します。

なお、教員免許更新制の詳細や、現在所持されている免許状の修了確認期限については文部科学省のホームページで調べることができます。

大阪音楽大学第40回吹奏楽演奏会

3月1日(日) 14時 ザ・シンフォニーホール

入場料 1000円 指定席

【チケット取り扱い】

チケットぴあ ☎0570-02-9999 Pコード 310-899

ABCチケットセンター(ザ・シンフォニーホール内 窓口受付のみ)

大阪音楽大学コンサート・センター ☎06-6334-2242

指揮 北野徹 演奏 大阪音楽大学吹奏楽団

K.フーサ:この地球を神と崇める

2009年度全日本吹奏楽コンクール課題曲より

真島俊夫:三つのジャポニスム

B.ピクール:交響曲 第0番

大阪音楽大学短期大学部第14回吹奏楽演奏会

3月8日(日) 14時 要整理券 ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮 小野川昭博 演奏 大阪音楽大学短期大学部吹奏楽団

F.スパーク:祝典のための音楽

J.ヴェンデルロースト:プスタ

兼田敏:パッサカリア

2009年度日本吹奏楽コンクール課題曲より

C.T.スミス:吹奏楽のための交響曲第1番

大阪音楽大学第6回ザ・ストリング・コンサート

3月10日(火) 18時 要整理券 ザ・カレッジ・オペラハウス

指揮 上塚憲一

演奏 大阪音楽大学・同短期大学部弦楽器専攻生

W.A.モーツァルト:ディヴェルティメント 第3番 へ長調 K.138(125c)

A.ヴィヴァルディ:ヴァイオリン協奏曲集「和声と創意の試み」作品8より 「四季」全曲

J.スーク:弦楽のためのセレナーデ 変ホ長調 作品6

大阪音楽大学短期大学部2008年度卒業演奏会

3月16日(月) 18時 第一夜 要整理券

ザ・カレッジ・オペラハウス

3月17日(火) 18時 第二夜 要整理券

ザ・カレッジ・オペラハウス

出演 選抜卒業生

大阪音楽大学2008年度卒業演奏会

3月18日(水) 18時 第一夜 要整理券

ザ・カレッジ・オペラハウス

3月19日(木) 18時 第二夜 要整理券

ザ・カレッジ・オペラハウス

出演 選抜卒業生

2008年度 大阪音楽大学大学院演奏会

3月23日(月) 18時 要整理券 ミレニアムホール

sou 想創奏

企画/演奏 大阪音楽大学大学院生

C.グノー:アヴェ・マリア

G.ヴェルディ:歌劇「オテロ」よりアヴェ・マリア

湯山 昭:アヴェ・マリア

今井飛鳥:「そうそう」—アルト・サクソフォン、マリンバ、ピアノのための—

F.ショパン:ピアノ2台のためのロンド へ長調 作品73

間宮芳生:オペラ「昔噺 人買太郎兵衛」

わが国の音楽教育に大きな功績を残した本学創設者の永井幸次。「言文一致唱歌」を提唱した田村虎蔵。「ふるさと」や「春の小川」などの名曲を残した岡野貞一。3人はいずれも鳥取県出身で、ほぼ同時期に活躍しました。後に「童謡のふるさと鳥取」と呼ばれるようになった、その背景を探ってみました。

(文中敬称略)

永井と田村、それに鳥取県教育界で重責を担った林甚蔵(重浩)の3人は92年(明治25年)にそって東京音楽学校(現東京芸術大学音楽学部)に入学。当時、「地元

校史点描

< 5 >

創立百周年に向けて

から3人も」と話題になりました。同校第2代校長の村岡範為(1873-1948)がこの年7月、20年ぶりに鳥取県へ帰郷。このことが永井ら3人に大きな影響を与えました。一方、岡野は永井の弟・脩造と同級生で、東京音楽学校への進学を勧めた永井の存在抜きには語れません。

永井は1874年(明治7年)2月21日、現在の鳥取市西町で生まれました。父親の脩は元藩校「尚徳館」の漢籍、剣道の教師で、クリスチャン。その影響を受けた永

井は讚美歌を通じて西洋音楽と親しみ、12歳で初めてオルガンに接しました。尋常高等小学校を出て果樹園や畑仕事をしていた18歳の永井は92年7月のある日、田村と師弟関係にあった脩造から「田村先生が東京音楽学校に進学されるそうだ」と聞き、田村から同校の

講演きっかけ音楽志す

永井の上京が決まりました。同9月に同校予科に入学した永井は苦学して96年(明治29年)に本科専修部を卒業します。この間、作曲家の小山作之助や文豪・幸田露伴の妹で、我が国の音楽留学生第1号となったピアニストの幸田延(子)らに師事しました。

鳥取出身の3人



①は東京音楽学校時代の左から永井幸次、岡野貞一、瀧廉太郎②は田村虎蔵③は鳥取市在住の鈴木恵一さん提供

規則書を借りて読みました。

田村は村岡の「普通教育における音楽」という講演を聞き、赴任間もない学校を辞めて上京するというのです。これで永井も発奮。

幸い永井の父親は藩校時代、村岡に漢籍などを教えた、いわば恩師。そこで、永井は父親と一緒に帰郷中だった村岡の滞在先を訪ねます。村岡は父親に「ともかく、入学試験を受けさせるように」と言い、

岡野貞一は永井の勧め

卒業後、静岡県師範学校に就職、4年後に郷里の県師範学校に転任。オルガンの系統的指導や紙鍵盤による練習法などを教えました。しかし、父親の死去、脩造の戦死、借財など苦難続きで、05年(明治38年)に鳥取を去り、家族を連れて神戸に向かいました。

「大こくさま」さんたろう」などの作曲で知られる田村は73年(明治6年)、現在の岩美町生まれ。鳥取県尋常師範学校を卒業し、県内の高等小学校に赴任したものの、92年9月に特撰生で東京音楽学校へ。卒業後、兵庫県尋常師範学校を経て東京高等師範学校兼東京音楽学校助教となり、音楽教育の改革を次々と推進。東京市視学として行政面でも活躍しました。同じ特撰生で東京音楽学校に進んだ倉吉の林は鳥取県立第一、第二中学校などの校長を歴任しました。

岡野は78年(明治11年)、現在の鳥取市古市に生まれ、米人宣教師に楽才を認められ、永井の勧めもあって96年(明治29年)、東京音楽学校に入学。上京の際、品川まで出迎えてくれた永井の案内で永井ら5人と一軒家を借りて自炊。その後、永井と2人で暮らしたこともあり、紙鍵盤を使ってオルガン練習法や写譜のやり方を教わった岡野は、「桃太郎」「春が来た」「もみじ」も作曲しています。

ところで、わが国初の理学博士となった村岡は93年に東京音楽学校を辞任し、京都帝国大学教授に就任しています。もし、村岡が92年に帰郷していなかったら、音楽家としての永井、田村、岡野は誕生していなかったかも知れません。当然、「童謡のふるさと」も存在していなかったでしょう。

松本ヒロ子教授

(ドイツ語)



26歳で大阪音楽大学に採用されたから、弟や妹のようだった学生たちがいつのまにか孫に思えるほどの歳月がたちました。

ドイツ語教育を通して少しでも学生の勉学に役立ちたいと精一杯努力しながら、多くの個性あふれる学生たちと出会い、良き同僚に恵まれ、幸せな時間を過ごせまし

本学の教授6人が3月31日付で退任されます。松本ヒロ子教授、植野正敏教授、高橋浩子教授、阪上和夫教授、

高橋 浩子教授

(音楽学)



大阪音楽大学における37年の中で、後半の20年は専らオペラに関心を持って教壇に立ってきました。

ザ・カレッジ・オペラハウスという素晴らしい講堂が出来たのだから、学生諸君と一緒にオペラをあらためて見直してみよう、その上でオペラハウスでの生の舞台を共に楽しもう、との気持ちからオペ

た。施設も組織もまだ未成熟ながら、学内には若さと熱気があふれていた頃から、やがて大学が急成長し、次々と改革が遂行され、今日の大学の体制に至るまでの過程をじかに体験し、多くの事を学ばせて頂きました。

大学をとりまく状況は厳しくても、皆様の力を合わせれば、必ずや大阪音楽大学は更なる発展を上げられることと信じています。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。長い間、本当にありがとうございました。

6教授退任 お疲れさま

ラ史の講義を始めました。これが20年にわたるオペラとの、そしてオペラハウスとの付き合いの始まりでした。

以後、私は講義を通じて、また実際にオペラの制作に携わるることによって、実に多くのことを学びました。それは何物にも換えがたい貴重な体験です。

このように充実した半生を過ごし得たことを心より感謝すると同時に、厳しい状況を乗り越えて大が今後も発展していくことを祈ってやみません。

植野 正敏教授

(作曲)



まだ任期を7年残しておりますが、私事で退職することになりました。

教えることは教わることだとつくづく思わされた日々で、その意味でも非常に充実した教員生活を送ることが出来たと、大学と教職員の方々に感謝しております。本学での思い出は数えきれないほどあり、それらの一つひ

阪上 和夫教授

(声楽)



振り返れば様々な先人の言葉が脳裏に点滅します。

楽聖ベートーヴェンの「環境に良い悪いはない。強い意志の持ち主のみが偶然的環境を必然的環境となし得る」には極貧時代に随分と勇気づけられました。

初めてのリサイタルの時、故朝比奈隆先生にプログラムへの辞と

とつが現在の私をつくり、支えているのだと感慨深いものを感じております。

私が勤めてからK号館、オペラハウス、O号館、そしてP号館と大学の発展を目の当たりにしてきましたが、今は少子化で、大学は大変な時期にきています。しかし、本学は中村孝義先生と言う素晴らしい学長を得て、この困難な時期を乗り越えられると確信しております。

大阪音楽大学のさらなる発展を祈念しております。

福田紀子教授、山田みつ教授です。音楽教育に邁進された中での思い出などを寄せていただきました。

して頂いた「歌手的性格というものがある：」は含みを持った貴重なお言葉です。最近、若い頃覚えたS・ウルマンの「青春」(青春とは人生のある時期を指すのではなく、心の様相を言うのだ：)を改めて思い起こし、多少の言い訳っぽさを気にしつつもレッスン担当の学生たちにコピーを渡していますが、今、名実ともに青春の只中にある彼らは一体読んでいるやらないやら：。

紙面がきました。月並みながら母校の発展を祈っています。

福田 紀子教授

(ピアノ)



振り返ってみますと、学生として入学以来、早50年の年月が流れました。とても充実した日々が送れましたのも皆様のお陰と感謝しております。

66年(昭和41年)の音楽専攻発足と同時に教員となり、教えることの楽しさ、厳しさを体験いたしました。音楽専攻や短大専攻科で

も、アンサンブル(連弾・2台のピアノ)の授業を持たせて頂き、ソロでは学び得ることの出来ない幅の広い音楽を感じ、相手と呼吸を合わせ、一緒に音楽をつくり上げる喜びを学生と共に味わったことが強く思い出されます。

私自身もアンサンブルが好きなので、今後も連弾や2台のピアノの勉強を続けて、楽しんでピアノを弾いていきたいと思っております。最後になりましたが、大学の豊かな発展と諸先生方のご多幸をお祈り申し上げます。

山田 みつ教授

(ピアノ)



フランスの古都ボワチエで受けたピエール・バルビゼ先生(87年来日、1ヵ月にわたり本学で指導されました)のレッスンは今でも忘れられない。翌日のコンサートで急にベートーヴェンの協奏曲第四番の伴奏を弾くこととなった私は、当日の早朝より練習していた。そこへ先生がひょっこりと入って来

られて何と「ソロパートを弾いてあげよう」と言われたのである。レッスンの合間に私は勇気を出して「先生の演奏は間合いが素晴らしいが、どの様に考えているのですか」と尋ねてみた。返事は翌日になって丁寧に頂けたのだ。学ぶことと教えることは常に背中合わせということ併せてこの時、先生から教わったように思う。

校歌に「道を技をも磨きなば日々に榮えんこの学校」とあるように大学の百周年を皆様(まなびや)が幸せに迎えられることを祈念しています。

カンボジアにピアノ 本学協力 念願かなう

「カンボジアにピアノを贈る会」の田中郷子代表(00年大卒・ソプラノ)ら3人は12月17日、グランピアノ1台を提供した学校法人大阪音楽大学の西岡信雄理事長にプノンペン大学内カンボジア日本人材開発センター(CJCC)のオウム・ラヴィ所長からの感謝状を伝達しました。

本学から10月に運び出されたグランピアノは首都のプノンペンに無事到着して、12月5日に調律が行われました。田中さんと副代

西岡理事長に感謝状



④は現地での演奏会とそのリハーサル=左
⑤は西岡理事長に感謝状を伝達

表で本学演奏員の下岡万佑子さん(03年院修・歌曲)、同演奏員の關口康祐さん(04年大専修・ピアノ)、それに友人でフルーティストの金川知子さんの4人は10日に日本を出発し12日午後、「フレンドシップ・コンサート2008」のリハーサルで關口さんが試弾しました。

「フレンドシップ・コンサート」は13日にCJCC多目的ホールで約1時間半にわたって開催。ピアノお披露

現地演奏会で披露

目で關口さんがF・ショパンのノクターン「遺作」などを演奏し、田中さんら4人は現地演奏家と共演しました。プノンペン教員養成学校やシソワット高校でも公演し「音の国際交流」を重ねました。同会の田中代表は「大学からの寄贈ということで、ピアノ運搬費用は全てJICA(独立行政法人・国際協力機構)が担当してくれました。JICA、CJCC、そして本学と多くの方の熱意やご尽力で今回の寄贈が実現しました。09年もCJCCで演奏会をと要請を頂いています。このピアノが両国の交流の要となり音楽を通じて人の輪が広がっていくことを確信しています」と話していました。



1月15日 ザ・カレッジ・オペラハウス

ファンクス、ピアノ、ベースを同時にこなしながらドラムとファンキーなセッションを展開した安藤希さん、バンドネオンのタンゴに哀愁が漂う木村匠さんと竹崎綾さんのデュオ、入魂の演奏で三善晃の現代作品にチャレンジした杉本友樹さんら、電子オルガンコース2年生のみなさんが、多彩な機能を駆使して自ら編曲した作品を演奏。第2部では6人のアンサンブルで、ホルストの組曲「惑星」より「木星」が幻想的に演奏されました。

ファンキー、哀愁 機能駆使



1月17日 ザ・カレッジ・オペラハウス

2008年度 合唱演奏会

大阪音楽大学・同短期大学部2008年度合唱演奏会が開かれ、大学、短大、科目等履修生313人が出演しました。里井宏次教授の指揮で、一点の曇りもない女声ハーモニーがたおやかな尾形敏幸の「女声合唱とピアノの

大学、短大生313人が出演

情感豊かなハーモニー

ための『映像I』、ヴォカリーズが感情のうねりとなって言葉の背後を彩る新実徳英の作品などが演奏されました。

最後は本山秀毅教授の指揮で大規模な混声合唱。地を這うようなシュプレヒコール、冷徹な男声の語り、情感豊かなソプラノ独唱とダイナミックな合唱で、旧約聖書の世界を描いたアメリカの現代作曲家E.フィッシングアの「バビロンの河のほとり」や、今年生誕200年を迎えるF.メンデルスゾーン・バルトルディらの宗教曲を演奏しました。



ようこそ!オペラの世界へ

(同)らが今井順子さん(03年院修)のピアノ伴奏でオペラ「魔笛」より『パパパの二重唱』などを熱唱。

第2部は「びっくりヴァイオリン&おもしろリコーダー」と題し、ヴァイオリンの松田淳一講師とフルート・リコーダーの吉田真里子さんが出演。最後は幼児や小、中学生が、田邊さんと「シャボン玉」や「七つの子」を歌いました。





第17回定期演奏会

短期



大阪音楽大学短期大学の「第17回定期演奏会」が12月20日、ザ・カレッジ・オペラハウスで行われました。第1部は電子オルガンコースの学生がオリジナル曲や編曲を披露。最後はG.ガーシュウインの「キューバ序曲」で締めくくりました。オーケストラのための作品を森本友紀講師が9人編成のアンサンブル向けに編曲。学生たちは楽器の個性を生かし、電子オルガンの魅力をたっぷり聴かせてくれました。

第2部は総勢104人の短大吹奏楽団が小野川昭博講師の指揮でL.バーンスタインのミュージカル・ナンバー「キャントラのための作品を森本友紀講師が9人ディード組曲」などに挑戦しました。

ザ・カレッジ・オペラハウス第23回推薦コンサート2008「木村綾子ピアノ・リサイタル～幻想曲の夕べ～」が12月12日催され、木村講師が曲と時代背景を説明しながら演奏しました。

プログラムはW.A.モーツァルトの「幻想曲 ニ短調 K.397 (385g)」、L.v.

電子オルガンと吹奏楽 魅力たっぷり

木村綾子ピアノ・リサイタル

～幻想曲の夕べ～

ベートーヴェンの「同 短調 作品77」、F.シューベルトの「同 ハ長調 D760 (さすらい人幻想曲)」、R.シューマンの「同 ハ長調 作品17」、F.ショパンの「同 ヘ短調 作品49」の5曲。

木村講師は「幻想曲に関しては聴衆の皆さんに伝わったと思います。私としてはもっといろいろ出来たと思うこともあったのですが、主張したいことは分かっていただけでした」と話していました。



第8回地域ふれあいコンサート

第8回地域ふれあいコンサート(十中校区地域教育協議会主催)が12月7日、ザ・カレッジ・オペラハウスで催され、住民と大阪音楽大学の教員、卒業生らが音楽を通じ交流を深めました。

第1部は豊中市立第十中学校吹奏部が口火を切り、「ようこそ! オペラ・オペレッタの世界へ」では、ソプラノの田邊織恵さん(00年院修)、三河紀子さん



シリーズの最後は小餅谷哲男さん。日本人離れた甘い声と美しい立ち姿でファンの心をつかんできたミスターテノールの秘密に迫ります。お相手はソプラノの田邊織恵さん、ピアノは梁川夏子さん。

—小餅谷さんが歌を始めたのはいつごろですか

オペラ物知り講座 第4期

男声(男性)の魅力 解き明かします

中村 敬一



その4

小餅谷哲男さんの場合

ンでしたが、「お前の声はバリトンじゃない」といわれ、テノールに。大学院のころも高い音が出ず、授業に出るのが怖かった。急に声が出なくなったりして。今でも思いつくと、怖いですね。

—卒業後、イタリアに留学されていますか

二十代後半に。ベルゴンツイ先生に教わりました。ベルカント、つまり美しい歌とは「呼吸の芸術だ」というのが先生の口癖でした。

—息を自在に操り、効率的に使うことによって大きな声、豊かな響きが出るんですね。

お前も47歳になったら、ちゃんとした声が出るといわれました。今年47歳。本当に出るんやろか。

—帰国後初めてのオペラは大栗裕先生の「夫婦善哉」。それも柳吉の役。日本人や大阪人になりきるのに苦労しました。

—小餅谷さんとはベンジャミン・ブリテンの「アルバート・ヘリング」でご一緒しています

あの際は大変でした。娘の水疱瘡が移り、本番前日は39度の熱。その後、声帯に腫瘍ができて切除と再発の繰り返し。歌手生命の危機を何度も経験してきました。

—日本のオペラはどうですか

♪

外国語のように発音しろと教わりました。日本語で不明瞭な歌手は何語で歌っても不明瞭ですね。

ピタゴラス 金槌の音で音階発見

音楽の世界で古典といえばハイドンやモーツァルトのこと。しかし、ヨーロッパで一般的にクラシックといえば古代ギリシャを指します。古代ギリシャこそがヨーロッパの原型、魂のふるさとという考え方です。楽譜に書かれている

② はびきの市民大学・聴講記

西洋音楽史(講師・白石知雄)

音楽と数学「ドレミ」の起源

音階(ドレミ)の理論も約1000年の歳月を経て中世ヨーロッパに伝えられました。

数学でおなじみの哲学者・ピタゴラスは、いくつもの金槌でものを打つ音を聞き、金槌の重さを変えれば音が変わることに

気づきました。「音が変化するためには何か法則があり、数で証明できるに違いない」。このひらめきこそが「ピタゴラス音律」誕生の瞬間でした。

イタリアの哲学者・ボエティウスは、弦を一本張っただけのモノコードという楽器をつくり、ピタゴラスの理論を検証しました。ピタゴラスの伝説では金槌の重さを

変えると音が変わる、となっていていますが、弦の長さで音の性質が変わることがわかりました。弦の長さを半分にすると音は1オクターブ高くなり、さらに3分の2にすると「ソ」の音、「ソ」の音の3分の2なら「レ」の音が生まれ、これらの音を組み合わせると「ドレミ」ができることを証明しました。「ドレミの理論」は一本のものがあれば確かめることができるシンプルなものだったのです。

ピタゴラスの音律はボエティウスによってヨーロッパに紹介されました。キリスト教会は、すべての人が同じ様に祈りの歌を歌えるように、この歌を楽譜に残しました。当時の楽譜は横線が4本しかなく、そこに「おたまじゃくし」の起源となった四角い音符を並べて音の動きを表したものでした。

音階の法則は古代中国にもありました。「三分損益法」というもので、やがて日本に伝わり雅楽演奏の基礎となります。

神の存在が絶対的なものだった中世ヨーロッパでは音階の理論を説明するときに、こういったそうです。「神がつくりたもうた法則と秩序。神の思召しであるぞ」と。



こんにちは、受験アドバイザーのともみです。先日、一般入学試験

A日程の合否結果を通知しました。結果はどうであれ、受験生のみなさんは試験の時を越え

今後さらに大きく成長されると同時に残り少ない高校生活を有意義に過ごされるよう願っています。

09年度大学・短大一般入試B日程

試験日 3月23日(月)～24日(火)
出願期間 3月16日(月)～19日(木)

郵送必着

※3月20日(金)9時～13時は窓口

への持参のみ受け付けます。

試験科目 専門実技課題と面接

※短大の一部コースは募集しません。

音楽基礎科目到達度テスト

大阪音楽大学へ進学を希望する高校2年生以上の方を対象に第56回音楽基礎科目到達度テストを実施します。

本学では、ソルフェージュ・楽典・鍵盤楽器の3科目を音楽基礎科目と総称しています。音楽基礎科目は、音楽を専門に学んでいく

上で必要な音楽の基礎能力であると位置付けています。音楽基礎科目到達度テストとは、音楽基礎科目についてその学習到達度を調べるテストです。所定の成績をおさめた科目については、認定とします。認定を取得している科目は入学試験の際、試験を免除します。

実施日 3月24日(火)
申込期間 2月24日(火)～3月2日(月) 郵送必着

オープンキャンパス(報告)

12月23日のオープンキャンパスには高校1年生を中心に380人が来場しました。普段は見られないオペラハウスの裏側やコンサート用ピアノの試弾など、学びの場を実際に体験していただきました。

フェルマータ

ある高校生から「大学では、学生が自立して学んでいる印象です」と聞きました。自立するとはどういうことでしょうか。成人すれば勝手に自立できるものではありません。

大学では、自主的に学ぶ姿勢が求められます。キャンパスはたくさん学びの機会にあふれています。そのことを感じ取れたあなたは、既に自立への第一歩を踏み出しているのです。

身の桂まき氏に1歳児から幼児・児童までの豊富な経験をもとに語っていただきます。会員並びに無料体験受講者の保護者は無料です(それ以外の方は受講料500円)。また、講座中は保育士による託児所の設置も予定しています。詳細・資料請求は音楽院まで。

個人レッスンは随時受付中

音楽院の個人レッスンは、4歳以上ならいつからでも始めていただけます。楽器やジャンル、レッスンの目的やレベルなど幅広く対応が可能です。「音楽」を習いたい方はぜひご相談ください。

**2009年4月期教養講座
受講生募集中
受付:2月21日～3月21日**

社会人を主に対象としている付属音楽院の公開講座は2009年度から教養講座と名称を変更します。現在4月期の受講生の募集を受け付けています。器楽・声楽ダンス・理論など多彩な音楽院の教養講座を開講しています。あなたも音楽大学のキャンパスで学びませんか。なお、2009年度下旬には音楽の専門教育を修了した方や現在学習中の方を対象とした専門講座の開講も予定しています。

**こども音楽教育講座受講生募集中
無料体験受講:4月18日・25日**

従来の「基礎教育講座」は2009年度から「こども音楽教育講座」と名称を変更いたします。今年度は初心者のお子様限定の手軽にレッスンが開始できる「キッズレッスン(ピアノ、ヴァイオリン)」を新設。付属音楽幼稚園で幼児の指導経験豊富な講師などが指導にあたります。また「こどもの打楽器合奏」は経験・年齢別に2クラス開講など、こども向けの講座が更に

充実。
また、昨年延べ100人程度の参加を得



て好評だった無料体験受講=写真=を今年度も実施。申し込み受け付けは4月11

音楽院のひろば

日ですが、講座ごとの定員に達し次第申し込みを締め切りますので、ご検討中の方は早めにお問い合わせください。

**特別講座 おんがくを学ぶこどもたち
4月18日・25日15時45～16時30分**

小さい頃から音楽を学んでいると音楽の能力以外に何か他のこどもとは違った成長が見られるのでしょうか?

兵庫・神戸を中心に幼児の音楽教室を展開する音楽の杜(もり)代表で本学出



大阪音楽大学付属音楽院
〒561-8555豊中市市内幸町1-1-8
TEL 06-6334-2909 FAX 06-6334-2675
URL <http://ongakuin.jp>
E-mail ongakuin-support@daion.ac.jp
窓口・電話受付時間 月～土:10時～17時
日曜・祝日はお休みです。

Brillante

海外編／ブリュッセル在住

「室内楽に出合ってから、ピアノだけでは出せない響きとハーモニーに魅せられ、すっかり世界が変わりました」。フランスで室内楽トリオを組む井上麻衣子さん（01年大卒 ピアノ）は、本学卒業後、ストラスブール国立音楽院

に留学。著名なヴィオラ

奏者のドゥニ・デルクル教授から室内楽の勉強を勧められ、着いて一ヵ月後にさっそくトリオを

結成しました。メンバーはピアノが井上麻衣子さん、ヴァイオリンがカザフスタンのジーナ・クルマナ

井上麻衣子さん

01年大卒
ピアノ

リーノバさん、チェロがベルギーのヨハネス・ビュルコフさん。いずれも音楽院の留学生仲間です。「日本ではほとんど室内楽の経験がありませんでしたが、トリオはすぐ

にうまくいき、軌道に乗りました。フランスで取り上げられるようになり、コンサートのオファーがきて、それなら続けようという話になりました」。グループ名は「Trio Mistral（トリオ・ミストラル）」。国際色豊かな若者3人がさつそとと奏でるアン

サンブルは、フランス人の心をとらえ、05年にはAJAM (association jeunes artistes musiciens) の特別賞を受賞。パレ・ロアンで晴れの記念コンサートを開きました。メンバーのうち、ヴァイオリンがスイスのオリヴィエ・ピゲさんに代わりましたが、現在もヨーロッパ

ベルギーで自立の道あゆむ



フランスで室内楽

パを拠点に各地で演奏活動を行っています。昨年12月には初のCDを録音しました。

アルザス州の首都、ストラスブールはドイツに近い国境の街。ばら色のカテドラルがそびえ、伝統的な木造家屋が水辺に影を映す風情ある佇まいです。「ピアノの基礎的なテクニックは日本で学べ

ますが、音楽性に関しては、やはりヨーロッパにいかないと学べないことがたくさんあります。建物ひとつ見ても触発されますから。ストラスブールでは、デユサパンなど最先端の現代曲も勉強しました。特殊奏法にもチャレンジし、新しい発見の連続で楽しかったで

す」。ピアノと室内楽のダイプロマを取得した井上さんは、さらに研鑽を積むため、ドイツのカール



① トリオ・ミストラル
② 南フランスの小さな村
で野外コンサート

スルーエ国立音楽大学へ。エストニア人のトーマス・バナ教授のもとでドイツ古典派やロシアの作品をじっくり学び、同大学KAコース最優秀の成績で卒業しました。

「勉強の合間にはストラスブール近郊の町、トリュシユテックスハインムの公立音楽学校で、ピアノ教師や伴奏員として働きました。7、8歳の子どもに外国語でかみ砕いて説明するのは大変です。2年間働いたことで、地位や待遇の面で

不安定な立場を実感し、ヨーロッパで活動続けるために、将来に備えて一級教員資格をとろうと考えるようになりました」。

一級教員資格とはヨーロッパ全土で通用する教員資格。コンセルヴァトワールで教える道も開かれます。そして今度はベルギーのブリュッセル王立音楽院へ。現在、一級教員資格取得コース、伴奏マスターコースに在籍しています。

「最初はフランス語もドイツ語もあまり話せなくて。ストラスブールでは英語で面接が受けられましたし、カールスルーエでは先生がドイツ語を翻訳してくださったことも。先生方や友人にはすごく助けられました」。その後フランス語はめきめきと上達。08年度ベルギー政府フランス語圏奨学金の面接試験にみごとパスし、奨学生に選ばれました。4月にはメンバー全員で来日し、太閤園で大阪ライオンズクラブ主催のコンサートに出演し、4月12日には奈良のプライベートスクールでマスタークラスとコンサートを開く予定です。日本での音楽活動にも意欲的な井上さんは、音楽家として自立する道をアクティブに、そして着実に踏み出しています。

トリオ・ミストラルのホームページ
www.triomistral.com

ヘブンアーティスト 舞歌さん



公園でオカリナを吹く
ヘブンアーティスト舞歌さん

ヘブンアーティスト。東京都公認のアーティストのことで、パフォーミング部門と音楽部門の二部門から形成されています。オーディションに合格したアーティストに都がライセンスを発行し、公共の場でのパフォーミングを認めた制度で、「街が劇場になって、市民が気軽に芸術を楽しめるように」という石原慎太郎都知事の肝いりで始まりました。オカリナ奏者の舞歌さん（98年大卒 声楽）は、03年にヘブンアーティストのオーディションに合格。東京都のイベントを中心に、さまざまな都市空間でライブ活動を行っています。

昨年「あつぎ国際大道芸祭」に出演し、世界のパフォーマーと交流しました。

ヘブンアーティスト仲間であるパ奏者の藤枝貴子さん、ラテンギタリストの寺澤むつみさんとのアンサンブルで、昨年10月には初め

てのCD「Maika / 舞歌」をリリース。記念ライブを12月に行いました。小鳥のさえずりのように音色を変化させ、美しくピブラートを響かせる舞歌さんのオカリナは、「本当に癒されました」と声をかけられ、子どもたちから似顔絵入りのファンレターが届くほどの人気です。

「オカリナは土から生まれたイタリヤの楽器。オカは鶯鳥。リナーは小さい、かわいいという意味。土本来のほんわかと人の心を暖かく包み込むような音色が魅力です。フルートやクラリネットと違って、オカリナは唄口、発音体部分です。でに出来上がっているために、自分で調整をすることができません。そのため相性が合う、合わないの差が激しいんです。何種類も吹いて気に入る楽器が一つあるかないか。吹けば鳴るわけではなく、オカリナに身体を共鳴させることによって、より深い、輝きのある音色を出すことができます。息遣いは声楽と同じ。オカリナ製作の第一人者、中塚純二氏は、声楽家がこの楽器には一番合っているとお

オカリナで人の心癒したい

お客さまの中で、ご挨拶しても返答のない、無言のお客さまが印象に残っています。上京する時に初めて『自分たちは心に障害を持っていて、外に出られなかったけれど、オカリナが聴きたくて、ここまでこられるようになりました』



◎CDリリースの記念ライブ仙川キックバックカフェ
◎初CD「Maika / 舞歌」
発売元 オフィス・デル・ソル
MK-4391 定価2800円

つしゃっています」。

アニメ「ギャプテンハーロック」に登場するマヤのオカリナに憧れ、小学3年の時から独学でオカリナを吹き始めた舞歌さん。路上アーティスト活動の原点は、神戸にあります。「大学卒業後、聖歌隊のお仕事をしながら、週末に神戸異人館風見鶏の館前の広場で、オカリナを吹くようになりました。毎週聴きにきてくださる



と話してくれたことが、今でも忘れられません」。阪神大震災当時、学生だった舞歌さんは、今でも毎年異人館でお世話になった方々と一緒に神戸ルミナリエの消灯式を訪れ、「しあわせ運べるように」を歌って帰るそうです。

「ヘブンアーティストの活動は、常に都が指定した公園、街中などを歩いている人が対象です。演奏を一人でも多くの方に聴いていただきたい。演奏を通して人に訴えかけるメッセージが力強くなります。ヘブンアーティストの合格基準は、演奏で人の足を止めることができるか？街中で見て、聴いて魅力を感じることができるか？ またお客さまと一体感のあるステージ作りができるか？ それが基準です。オーディションには、毎年全国各地からたくさんのお応募がありますが、音楽部門の合格者は毎年一桁と大変厳しく狭き門です。私の夢は、オカリナで一人でも多くの方に幸せを運べるようになること。自分の演奏を聴いて、みんなが少しでもあたたかい気持ちになつてもらえるように。そんな思いでオカリナを吹いています」。

おことわり 舞歌さんの本名は本人の希望により伏せさせていただきます。ご了承ください。

芸術祭賞優秀賞

ア・カペラの「タロー」が受賞

08年度（第63回）文化庁芸術祭賞の受賞者が12月19日、文化庁から発表され、里井宏次教授が主宰するア・カペラ室内混声合唱団「ザ・タロー・シンガーズ」が音楽部門の優秀賞に選ばれました。贈呈式は1月22日にホテル・ニューオータニ大阪で行われました。贈呈式に出席した里井教授は「一番すばらしい楽器は人間の声。それを信じて15年間、オンリーワンを目指してがんばってきました。今、その成果が認められました」と受賞の喜びを噛み締めていました。

芸術祭賞は演劇、音楽など各部

門ごとに芸術祭参加公演を募り、

特に優れた公演に大賞、優秀賞、

新人賞が贈られます。音楽部門に

は関西と関東を併せ40公演が参加

しました。

優秀賞に選ばれた「ザ・タロー・

シンガーズ」の芸術祭参加公演は

人間の声追い求め15年



写真上は、贈呈式で喜びを噛み締める里井教授（1月22日、ホテル・ニューオータニ大阪で）
写真下は、優秀賞を受賞したザ・タロー・シンガーズの第15回大阪定期演奏会（10月5日、いずみホールで）

ザ・タロー・シンガーズ

94年に里井教授によって結成されました。メンバーは大阪音楽大学の卒業生が中心で現在28人。バロックから近・現代までの無伴奏曲をはじめ、最近は大満徹の合唱曲集「うた」全曲演奏など日本の

歌にも挑戦しています。定期演奏会は東京で10回、大阪で15回を数え、CDも「聖母マリアを讃えるうた」など4枚をリリース。日本では数少ないプロの室内混声合唱団として、その実力は高く評価されています。

10月5日にいずみホールで行われた第15回大阪定期演奏会「主よ、なにとぞ」。里井教授の指揮でF・マルタンの「無伴奏二重合唱のためのミサ」、F・プーランクの「カントーラ《人間の顔》」などを歌いました。

文化庁は、十数年にわたるザ・タロー・シンガーズの地道な活動を称え、技術的には「バランスの良い声部の積み重ねはノン・ビブ

ラート唱法も相まって、複雑なハーモニーの動きを透明にし、歌い手の自発性は豊かな表出力を生み出した。とりわけマルタンのミサ曲での二重合唱は、曲の持つ祈りと叫びを伝え、深い感銘を与えた」と評価。これまでの活動と技術両面のすばらしさが優秀賞につながったとしています。

「楽器としての声を追い求めたら、無伴奏にたどり着きました」という里井教授。「これからはヨーロッパの無伴奏曲や日本のすばらしい歌を通してア・カペラの醍醐味を伝え、合唱芸術の裾野を広げたい」と話していました。

松本さんの「咲くやこの花賞」



びわ湖ホール、いすみホールなどでオペラの主要な役を務めてきました。

深い音色とエネルギー溢る唱法で人間ドラマを作り上げる松本さんは関西の若手テノールの代表的存在。また、大阪芸術大学などで後進の指導に当たり、これらの活躍が評価されました。

松本さんの話 このような素晴らしい賞を頂き大変光栄に思っています。これからも聴いて下さる方に、感動と勇気を与えられるような演奏を目指します。

テノール歌手でザ・カレッジ・オペラハウス合唱団員（97年入団）の松本薫平さんが大阪市の08年度「咲くやこの花賞」に選ばれました。この賞は芸術活動を通して大阪の文化振興に貢献した個人・団体に贈られる賞で、おおむね40歳以下が対象。

音楽部門で受賞した松本さんは、東京芸術大学卒業後、イタリアに留学。99年にオペラ「ラ・

ボエーム」でデビュー。その後は所属の関西二期会をはじめ関西歌劇団、

バリトンの晴さん受賞

バリトンの晴雅彦さん(89年大卒)が平成20年度兵庫県芸術奨励賞を受賞しました。「卓越した歌唱力と演技力で内外のオペラに数多く出演し、優れた



兵庫県芸術奨励賞

成果をあげた」ことが受賞理由。08年9月には、いずみホールで行われた「バリトンリサイタル」が大阪文化祭賞奨励賞に選ばれており、晴さんにとっては二

重の喜びとなりました。

晴さんは90年にオペラ「蝶々夫人」のゴロー役でデビュー。その後は数々の舞台で活躍してきました。この1、2年を

卓越した歌唱、演技力

見ても兵庫県立芸術文化センターの「魔笛」「蝶々夫人」をはじめ、新国立劇場「ばらの騎士」、びわ湖ホール「フイガロの結婚」などに出演。その活躍ぶりは目を見張るものがあります。

96年にドイツ・ケムニッツ歌劇場の「魔笛」パバゲーノ役でヨーロッパデビューを果たした晴さん

は、これを機に海外でも活躍。06年にはロシア・レニングラード国立歌劇場管弦楽団との共演も実現し、貴重な才能と歌唱力は海外でも高い評価を受けました。

晴さんは舞台だけでなくNHKの「人間マップ」「名曲リサイタル」、テレビ朝日の「題名のない音楽会」などにも出演し、オペラの面白さを伝えてきました。

晴さんの話 平成21年も公演に恵まれ3月にはびわ湖ホール(トウランドット)、5月はいずみホール(カリュー・リヴァー)、7月に新国立劇場(トスカ)などに出演予定です。どの公演もベストを尽くしてがんばりたいと思います。

学生音コン 島影さん入選

第62回全日本学生音楽コンクール全国大会(毎日新聞社主催)が12月2日、横浜みなとみらいホールで行われました。声楽部門大学・一般の部に大阪地区代表として臨んだ島影聖人さん(08年大専修・テノール)は惜しくも3位入賞を逃し、入選にとどまりました。



鳥栖ピアノコン 比果さん3位

比果沙織 島影聖人

第14回フッペル鳥栖ピアノコンクール2008(佐賀県鳥栖市、読売新聞西部本社など主催)の本選が11月16日、鳥栖市民文化会館で開かれ、比果沙織さん(大2)が3位に入賞しました(2位は該当なし)。

コンクール 敬称略

■ふれあいの祭典「アンサンブル・フェスティバル兵庫2008」大学生A部門 実行委員会賞(総合1位)

アンサンブル Lippe=原田恵美(大4・クラリネット)、西谷小百合(同・フルート)、飯沼奈那恵(大3・オーボエ)、石原知実(同・ファゴット)、大角奈央美(同・ホルン)



左から西谷小百合、飯沼奈那恵、石原知実、大角奈央美、原田恵美

▽大学生A部門 兵庫県芸術文化協会賞 マリンバ4重奏「Colore」=三好加菜(大4)、山本ルリ子(大3)、小松加奈(大2)、横山繭(短1)=9月6日、兵庫県立芸術文化センター。兵庫県など主催



左から山本ルリ子、横山繭、小松加奈、三好加菜

オーボエの鐘ヶ江さん1位

留学先のドイツで高評価



2次はモーツァルトの「オーボエ協奏曲」を演奏。「音楽の表現、音の響きがとても豊か。音の一つ一つに愛情が感じられました」とうれしい評価をいただき、初のオーボエ部門で1位の座を射止めました。

11月15日に行われた表彰式でオーケストラと共演した鐘ヶ江さん。「プロとの共演は人生初めて。それも留学地のドイツで実現し、本当に幸せです。これからは音楽を自分らしく表現できるように努力していきます」と話していました。

ドイツ国立デトモルト音楽大学に留学しているオーボエの鐘ヶ江直美さん(06年大卒)が08年10月にドイツ・ドルトムントで行われた「Dr.Gerhard Kramer Fide Preis 2008」に出場、厳しい審査を突破し1位に輝きました。このコンクールは、クラシック復興に生涯をささげ06年に亡くなったゲーハート・クラマ1氏を称えるために創設されました。今回はオーボエ限定で、鐘ヶ江さんは1次審査でテレマンの、

ベートーヴェンとヴェルディで 歌う阪神タイガース新応援歌

星野隆子さん
(87年院修・メゾソプラノ)



阪神タイガースに球団公認の新猛虎応援歌がお目見えしました。オペラ歌手・星野隆子さんがベートーヴェンなどの名曲を自らが歌う本格的なクラシック応援歌。真弓新監督率いる新生タイガースにとっては頼もしい「助っ人」です。

タイトルは「ベートーヴェンとヴェルディで歌う阪神タイガース新応援歌」。「第九」の第4楽章「歓喜の歌」をアレンジした「酔・虎・楽・章」とヴェルディのオペラ「アイダ」の第一幕をベースにした「勝ちて帰れ!」の2曲。

♪ ちゃっちゃと勝つといで ちゃっちゃと!

こだます声援に はばたけタイガース…

勇ましくもユーモラスな歌詞に、サクソフォーンなどのジャズ風味が加わる異色の応援歌。

「はじめは『六甲おろし』を収録したい、という思いから始まりました。球団に相談したところ、著作権の問題がからみ、他の曲と抱き合わせなら、ということに。

それで出来上がったのがこの新応援歌」と星野さん。メンバーの受けもよく、最終的にはこの2曲だけの収録になったそうです。

CD発売後は毎日放送のラジオ「ありがとう浜村淳です」に出演し、阪神ファンの間でも一躍話題に。10月、ホテル プラザオーサカで行われた「CDお披露目コンサート」には熱烈なタイガースファンが大勢詰め掛け、盛況だったそうです。

独走態勢の後、チームに陰りが見え、最後は巨人に優勝を奪われた今年のタイガース。今シーズンは新応援歌を背に「V奪還・悲願の日本一」を目指します。

発売元は、オペラ読本出版 (<http://sound.jp/operapec/>) で1680円。全国のディスクピア(上新)、HMV、タワーレコード、ヤマハ、猛虎通販、インターネット上でも取り扱っています。

Super Recorder Quartet vol.1

スーパーリコーダーカルテット

藤田 隆教授主宰



藤田隆教授が主宰する「スーパーリコーダーカルテット」が本学の研究助成を受け、待望のCDをリリースしました。メンバーは藤田教授のほか秋山滋本学講師とビッグな仲間2人。個性あふれる演奏者が描くスーパーサウンドは、リコーダーの魅力、無限の広がりを再発見させてくれる一枚。

収録はテレマンの「協奏曲 へ長調」をはじめチャールトンの「空想の花束」、因幡の民話をもとに山本喜三氏が作曲した「人形峠」など、ルネサンスから現代まで、様々なジャンルの10曲。4人はポケットに収まるほどのクライネソプラニーノや2メートル以上もあるコントラバスなど29本のリコーダーを駆使し、アンサンブルの妙を見事に演出しています。

発売元はナミレコード。2835円。



ニューヨーク・シティ・セレナーデ

敦賀明子さん

(88年短大卒・ピアノ)

敦賀明子といえば今、ニューヨークで最も注目を集めるオルガン・ジャズプレイヤーの1人。その敦賀さんが憧れの歴史的ドラマー、ジミー・コブ氏をゲストに迎え、4枚目のアルバムを実現させました。

「星に願いを」「今宵の君は」「イージー・ウォーカー」など11曲を収録。ビバップ時代の作品を中心に選曲は心憎いほどバラエティーに富んでいます。そして何よりうれしいのは79歳とは思えないジミー・コブ氏のスウインギンなドラミングと、ブルージーなオルガンとのアンサンブル。「 Hammondオルガンの真髄であるフィーリングを大切に1曲、1曲を丁寧に仕上げました」と敦賀さん。

日米同時発売で、本場アメリカのジャズ評論家も一目置く1枚。

発売元は「Mojo」。2940円。

出版

八田惇教授翻訳

八田惇教授の翻訳・校閲によるF.ショパン作曲「ノクターン第1集」コルトー版の日本語編が、12月15日全音楽譜出版社から刊行されました。菊倍判74ページで、定価は2500円+税。ノクターンという言葉を最初に使ったのはアイルランド生まれのジョン・フィールドで、ピアニスト兼作曲家でした。彼はこの形式で20曲の作品を残しています。ショパンはフィールドのノクターンから感銘を受けて、こ



コルトー版「ノクターン第1集」

の形式で21曲(生前刊行されたのは18曲)作曲しました。ショパンの作品からはフィールドのように一面的でなく、多様性が感じられ、表現法も高い域で情熱と劇的息吹、そして壮大さが加味されています。第1集には作品9、作品15、作品27、作品32の10曲が収められています。そしてこの版の特徴であるコルトーの作品解釈や練習方法なども詳細に書かれています。

貴志康一 生誕百年迎え ブルガリアで記念演奏

本学の北浦洋子講師は11月20日、ブルガリアの首都ソフィアで催された国立ソフィア・フィルハーモニック・オーケストラの定期演奏会でゲスト・コンサートミストレスを務め、09年に生誕100年となる貴志康一作品などを演奏し写真左から5人目とし、聴衆から大きな拍手を受けました。

外研修員特別派遣で9月からの渡英中に同国から招かれました。演奏した一つは貴志の「道頓堀」で、大オーケストラのための「日本組曲」の全6曲のうち3番目の曲。もう一つは「祭り」。オーケストラ組曲「日本スケッチ」の4曲目で、指揮は守山俊吾常任客員指揮者（65年短大卒・クラリネット）。

コンサートミストレスを務めた北浦洋子講師



ソフィア・フィルハーモニック協会会長のP・シヨポフ博士は「2作品を含むうれしいサプライズは、オーケストラを率いた優秀なゲストヴァイオリニストの北浦さんだったことです。彼女は日本と、ドイツ、イタリア、スイスなどでキャリアを積みました。有名なヴァイオリン協奏曲のほとんどをレパートリーとして持っていると思われる、将来、彼女がソフィア・フィルのソリストとして演奏してくれればたいへんうれしく思います」とコメントしています。

今回の演奏会は「ブルガリア日本文化月間」のフィナーレを飾るもので、北浦講師は平成20年度在

本学の北浦洋子講師は11月20日、ブルガリアの首都ソフィアで催された国立ソフィア・フィルハーモニック・オーケストラの定期演奏会でゲスト・コンサートミストレスを務め、09年に生誕100年となる貴志康一作品などを演奏し写真左から5人目とし、聴衆から大きな拍手を受けました。

岐阜支部推薦演奏会 金賞に野田知美さん

第35回幸楽会岐阜支部推薦演奏会は1月11日正午からドリームシアター岐阜7Fホールで催され審査の結果、金賞に野田知美さん（高2）、銀賞に古川拓弥さん（小6）が選ばれました。

今回は広く会員から推薦を募り、22人が声楽とピアノを披露しました。演奏終了後、審査委員長で本



学講師の伊藤勝先生によるワンポイントレッスンを全員にしていたいただきました。とてもユーモアに溢れたレッスンに出演者もすっかり緊張が解かれ、先生のアドバイス

大阪音楽大学後援演奏会

ディートリヒ・ヘンシェル バリトリンサイタル
4月5日(日)15時 イシハラホール
一般7000円 学生5000円
ディートリヒ・ヘンシェル ピアノ 岡原慎也
シュペルト ゲーテの詩による歌曲
マーラー:少年の不思議な角笛
☎0797-84-5952 ラブト・サウンド

岩本敏子メゾ・ソプラノリサイタル
4月9日(木)19時 3500円
兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール
ピアノ 浅井康子
春に歌う中田喜直・山田耕伴の世界
☎06-6445-5105 関西二期会

シュトイデ・カルテット十岡原慎也
4月20日(月)19時 神戸松方ホール
一般5000円 友の会4000円
シュトイデ弦楽四重奏団 ピアノ 岡原慎也
ハイデン:弦楽四重奏 第78番
ドホナーニ:ピアノ五重奏曲 第1番 ほか
☎078-362-7111 神戸松方ホール

芹澤文美ピアノリサイタル
5月15日(金)19時 イシハラホール
前売3000円 当日3500円
ラフマニノフ:楽興の時
リスト:バラード 第2番 ほか
☎0797-84-5952 ラブト・サウンド

最後に金賞、銀賞の受賞者に記念の楯と賞状が伊藤先生から渡されました。写真左は、なお、野田さんは、幸楽会本部主催の推薦演奏会に支部推薦として出演することができ

服部 みすず記

《幸楽会》後援演奏会

石若雅弥作品展2009~ソプラノ田中恵津子とともに
3月1日(日)14時 サンスクエア堺ホール
前売2500円(学生1000円)当日3000円(学生1500円)
作曲:ピアノ石若雅弥 ソプラノ 田中恵津子 チェロ 大町剛
☎072-241-9074 田中

田中郷子ソプラノリサイタル~スペイン&アルゼンチン
3月1日(日)16時 アマックホール 入場料3000円
ソプラノ 田中郷子 ピアノ 金澤佳代子 ギター 増井一友
☎0797-31-6988 アコルデオンコンサートオフィス

Playford 1/10 英国・幻想世界の舞曲
3月4日(水)19時 サ・フェニックス・ホール
前売2500円(当日3000円)学生1000円(前売&当日)
横山知彦 中西歩 吉竹百合子
☎090-7420-7371 アンサンブル・トリーヌ

サクソフォーン ユーフォニウム コンサート
ブランクに寄せて~生誕110周年
3月8日(日)15時 フィガロホール
前売一般2000円 当日2500円 高校生以下500円引
西田歩美 中野三樹夫 岡部桂永子
☎090-9093-4573 西田

ブリランテコンサート
3月18日(水)18時30分 入場料500円
大阪音楽大学シニアホール
端山梨奈 中野綾 白石優子 掛戸有美 大久保泰子 伊野波幸 幾瀬教子 吉田衣里
(周)brillante_g_c@yahoo.co.jp

スペインへの想い クラシック音楽とフラメンコ
3月24日(火)19時 入場料3000円
兵庫県立芸術文化センター 小ホール
フラメンコ舞踊 東伸一 ギター 國光秀郎 ピアノ 西奈央子 加藤哲子 ソプラノ 田中郷子 フルート 金川知子
☎078-843-6382 アコルデオンコンサートオフィス

山本裕之テノール・リサイタル
3月29日(日)15時 神戸新開松方ホール
前売3500円(学生2000円)当日4000円(学生2500円)
☎078-805-6351 神戸コンサート協会

西村紀子の「春を呼ぶコンサート&お食事会」
3月31日(火)13時 芦屋モリス
一般12000円 後援会会員10800円
☎090-6323-9841 プリマヴェーラ

幸楽会のホームページ <http://www.kougakukai.net/>
E-mailアドレス kougaku@daion.ac.jp



第28回こどものミュージカル



付属音楽幼稚園の「第28回こどものミュージカル」が12月7日、豊中市立市民会館で行われました。今年のプログラムはヨーロッパに伝わる民話「長靴をはいたネコ」をもとにした「かしこいネコの物語」。196人の園児たちは大阪音楽大学アンサンブルの演奏で25曲を熱演、熱唱。わが子の晴れ舞台にお父さん、お母さんたちから大きな拍手が送られました。



ピアノ&ヴォーカルユニット「BIG BELL」の鈴木貴雄さん(97年大専修・声楽と西原大介さん(同大卒・声楽)が12月23日、ザ・カレッジ・オペラハウスで開かれた冬のオーブンキャンパス「イブイブコンサート」卒業生からのクリスマススペシャル「卒業生からのクリスマスプレゼント」に出演。受験生たちの魅力語り、「ひかりのかけら」や「命を語り、「ひかりのかけら」

受験生に体験織り交ぜ熱演

オペラハウスで「BIG BELL」



2人は94年に学内で知り合い、音楽祭やライブイベントなどで活躍。卒業後、鈴木さんは高校の音楽教諭、西原さんはNHK神戸放送しました。

送局に就職しました。しかし、音楽家への夢を捨てきれず上京。01年にBIG BELLを結成し、2台のグランドピアノを弾き合い、歌い合うという他にはないスタイルを確立しました。

注目されたのは02年4月からテレビ朝日系列で始まった「旅の香り 時の遊び」。オーブニングテーマ曲「藍」、エンディングテーマ曲「ひかりのかけら」が採用されました。08年1月には「旅の香り」四季の名宿めぐりのテーマソング「風の色」でメジャーデビュー。「セレブな奥様に大人気」と言われ、08年1月31日に黒柳徹子さんの「徹子の部屋」にも出演しました。

次号発行予定4月1日



「タロー」のX'マズプレゼント

ミレニアムホール特別講座

講師 里井 宏次

人間の声だけで形作る純粋で力強いハーモニーが、敬虔な祈りとなって立ち昇るF.プーランクの「クリスマスのための4つのモテット」。はずむようなヴォイスパーカッションに、結婚行進曲がちらりとのぞくアレンジが幸せ気分をふりまく中村八大の「おさななじみ」。演奏は里井宏次教授



ノン・ビブラートで敬虔な祈り

が率いるア・カペラの合唱団、ザ・タロー・シンガーズです。ナビゲーターの日下部吉彦さんが里井教授と対談し、合唱団誕生のいきさつなどを紹介。本学卒業生を集めて結成され、ノン・ビブラートのバロック唱法をベースに演奏活動をしてきましたが、最近では新たなレパートリーを開拓中とのこと。「きよこの夜」などクリスマスの歌をたっぷり客席にプレゼントしました。